

世界マスターズ陸上競技選手権(マラガ)大会

日時 2018年9月4日～9月16日

場所 スペイン・アンダルシア州マラガ県

日本からは鴻池団長(マスターズ連合会長)以下90人出場

強力な選手団・金30個メダル100個以上が目標

北京五輪400メートルリレーメダリストの朝原宜治さん45が現役復帰し・世界マスターズ陸上競技選手権大会(会場スペイン・マラガ)でM45(45～49歳の部)に出場。タレントで百獣の王と称される武井壮やM45の100メートル国内ナンバー1譜久里武(沖縄)や彼が推奨する佐藤政志(新潟)の4人でM45夢のリレーチーム(M45朝原・武井・譜久里・佐藤)が世界新金メダルを狙う。この他日本から海外でのマスターズ陸上世界選手権では史上最強の強力メンバーが参加する。

強力参加者の中でも金メダルが確実視されるのはM85田中博男(青森)田平貞夫(新潟)M50福本義永(兵庫)M40吉岡康典(愛知)。W80中野陽子(東京)W75嘉成俱子(福島)等はすでに世界大会金メダリストであり、海外初参加のW65大日向暁子(長野)は三段跳びW50～W65のマスターズ世界記録保持者だ。またW45早狩実紀(京都)W40福本幸(兵庫)は全日本実業団や日本選手権等でもメダルが取れる実力者だ。

ここ近年海外での世界マスターズ陸上選手権でかつてない強力なメンバーがエントリー。金30個他100個以上のメダル獲得が期待されている。尚鴻池清司(公益社団法人日本マスターズ陸上競技連合会長・和歌山)は大会史上最多の世界大会連続22回出場と初の金メダル獲得を目指している。